

令和5年度第1回碧南市芸術文化ホール指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

令和5年5月27日（土） 午後1時55分から午後4時05分まで

2 場所

碧南市民図書館2階会議室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者 清水裕之（委員長）、伴野義雄、靱山勝人、石川善博、宮本美枝子、山本政裕

(2) 欠席者 蛭川真弓

(3) 事務局職員 教育部長 岡崎康浩、生涯学習課長 鈴木善三、生涯学習課課長補佐 山田光則、生涯学習課主事 藤田達也

(4) 指定管理者 エリアワン株式会社 取締役部長 石川明良、芸術文化ホール館長 小林ひとみ、芸術文化ホール副館長 橋本浩希

4 傍聴者 なし

5 議題

(1) 碧南市芸術文化ホール指定管理に関する点検評価について

(2) 令和4年度事業報告及び点検評価

6 議事の要旨

(1) あいさつ（清水委員長、委員及び事務局）

(2) 議題

ア 碧南市芸術文化ホール指定管理に関する点検評価について  
事務局が会議資料に基づき、点検評価について説明した。

<主な意見・質疑>

なし。

イ 令和4年度事業報告及び点検評価

指定管理者が会議資料に基づき、令和4年度事業報告について報告した。その後委員による点検評価を実施した。

<主な意見・質疑>

【A委員】アンケートについて、92ページは回答の合計数がグラフ横に記載されているが、事業報告の資料には記載がない。パーセンテージは何人からの

回答によるものなのか。

【A指定管理者】アンケート回収率は業報告書各事業の一番下に記載している。これが同表中の入場者数に対するものであるため、ここから確認していただくこととなる。記載の表示方法について改善する。

【B委員】アンケートについてごく少数だが不満、やや不満の項目について具体的な意見はあったか。

【A指定管理者】空調の温度に対するものと、利用時間の長さについてである。

【C委員】施設の使用件数が前年度に比べ増えているが、利用料収入が増えていないが、減免利用が多かったのか。

【A指定管理者】練習・録音の利用等が増えており稼働率が高い値になっている。コロナ禍前は朝から夕方まで利用しているような練習等も、利用者がコロナ対策を意識し、時間を短縮していたため、金額の増加に繋がらなかった。

【C委員】「みんなで楽しく企てよう」企画について、収支が黒字化しているが、収入は指定管理者となるのか。

【A指定管理者】指定管理者の収入としている。

【C委員】企画に参加している市民のメンバーは、企画内容を検討するのみか。

【A指定管理者】そのとおりである。ボランティア団体であるため、支払い等は発生していない。

【D委員】収支状況について、指定管理料を途中で増額している。説明書では、光熱水費と記載している。支出項目には燃料費の項目もあるが、違いはあるのか。

【B指定管理者】光熱水費は水道、電気である。燃料費はガスである。

【D委員】事業費について、大半の項目が予算内で収まっているが、消耗品費が予算を超えている点については。

【B指定管理者】民間管理のノウハウを活かしコストを抑えているが、現場の状況により執行している部分もあるため、若干の増減はご理解いただきたい。

【D委員】燃料費は指定管理料の中途増額の中に含まれていないのか。

【事務局】燃料費も考慮して指定管理料を増額している。

【B指定管理者】報告書の記載方法により誤解を招いてしまったが、燃料費を含め補填をいただいている。

【E委員】事業展開をより広げるために、事業予算が不足しているのか、スタッフのオーバーワーク、どちらの点がネックだと考えるか。

【B指定管理者】販促活動等、利便性向上により利用料収入を伸ばしていく余地はあると考えている。少ないスタッフの中でもアドバイスをもらっている配信事業等で認知度を上げながら方策を講じてきたい。第1期から第2期で事業予算が減額となっているが、これについても会社のノウハウを結集してチャレンジしていきたいと考えている。

【E委員】配信サービスが増えると人的負担も増えるのではないかと心配を感じる。その他アウトリーチ事業は増やしても良いのではと感じている。フォーラムコンサートの登録者の評価、水準の保ち方はどうしているか。

【A指定管理者】登録希望者はプロ、アマチュア問わず登録いただいている。ただし、登録者は10年前の第1期の際から状況が変わっていると考えられるため、今回開催をするにあたって、臨機応変に声をかけて整理したい。

【E委員】自主事業としての枠組みが年間の回数で少ない。他のホールと比較すると少ないと思う。最近の傾向として、一定の水準のある地域のアーティストに対して施設を無償で提供し、あまりお金をかけずにコンサートの数を増やしていくという展開をしているところが出てきているが、難しいか。

【A指定管理者】稼働率がかなり高いので、土日の施設が確保できない。ゴールデンウィーク、お盆時期や平日等の使わない日程であれば提供が可能である。

【E委員】エメラルドホール、シアターサウスにおいて貸館、自主事業問わず有料の鑑賞型事業を実施しているのは全体の利用の何割か

【A指定管理者】2割程である。残り8割は大きな発表会や練習利用である。シアターサウスはダンスの発表会で利用されるので、有料のケースもあるが、エメラルドホールは無料の発表会が大半である。

【E委員】これについては事業報告書上記載がないので読めないが、現在の利用割合を検討していく必要もあるのではないか。

【C委員】有料講演の貸館を土日等良い日取りで増やすためには、エメラルドホールの魅力を演奏団体に知ってもらう必要がある。そのためには実施事業を平日等にシフトするよう、バランスを取る必要があると考える。そうすると、館長含めスタッフ4名で、平日休日回すことが多くなり、人員不足が懸念される。舞台スタッフの協力体制等見直す必要もあるのでは。

【B指定管理者】稼働率が増加し、舞台スタッフへの人件費がひっ迫している部分もある。全体として工夫の余地は当然あると考えているが、電気代含めコストも増えているため、指定管理料を増額してもらった経緯はあるものの、事業費全体としては厳しいというのも本音としてはある。

【B委員】主催事業の料金設定について、有名なアーティストを呼んでも入場料収入が増えていないと感じるが、立地条件の良いホールと比較して、料金設定の基準はあるのか。

【A指定管理者】アーティストによって上限が決まっているところもある。交通の利便性は高くないので、金額を増加すると集客数が減るため、これらを勘案して決定している。なお、エメラルド会員価格と一般価格の差を500円から1,000円としてエメラルド会員の割安感をより打ち出すようにした。

【B指定管理者】貸館の利用料についても光熱費のコスト増加に伴い、料金設定が適正なのか市へ相談したい。

【D委員】エメラルド会員は現状で何人いるか。

【A指定管理者】令和5年4月からの会員が218名程度である。昨年度までの2年間の会員数が256名であったため、これを超える水準である。

【D委員】エメラルド会員の市内、市外の内訳は。

【A指定管理者】市内の方が多い。

【D委員】近隣文化施設との招聘アーティストのバッティングによる集客力の低下については、どのように対応しているか。

【A指定管理者】時期や場所等で似たような公演の有無を確認している。

【A委員】 レストランとの連携について、主催事業で利用しているか。

【A指定管理者】 コロナ禍で連携する機会が少なかったが、アーティストへ出す弁当等を依頼している。その他、エメラルド会員証を提示すればいつでも食事料金が5パーセント割引になるような特典で連携をしている。また、ART POTLUCKでのマルシェイベントの出店や、天候の都合で他の出店者が出られない際にも食品の提供を依頼したこともある。

(3) その他

今後の指定管理者審査委員会日程について

7月22日土曜日午後1時30分より、次期指定管理者の選定のため、第2回指定指定管理者審査委員会を開催。また、例年11月開催の審査委員会は、第3回指定管理者審査委員会として、11月4日土曜日午後2時に決定。